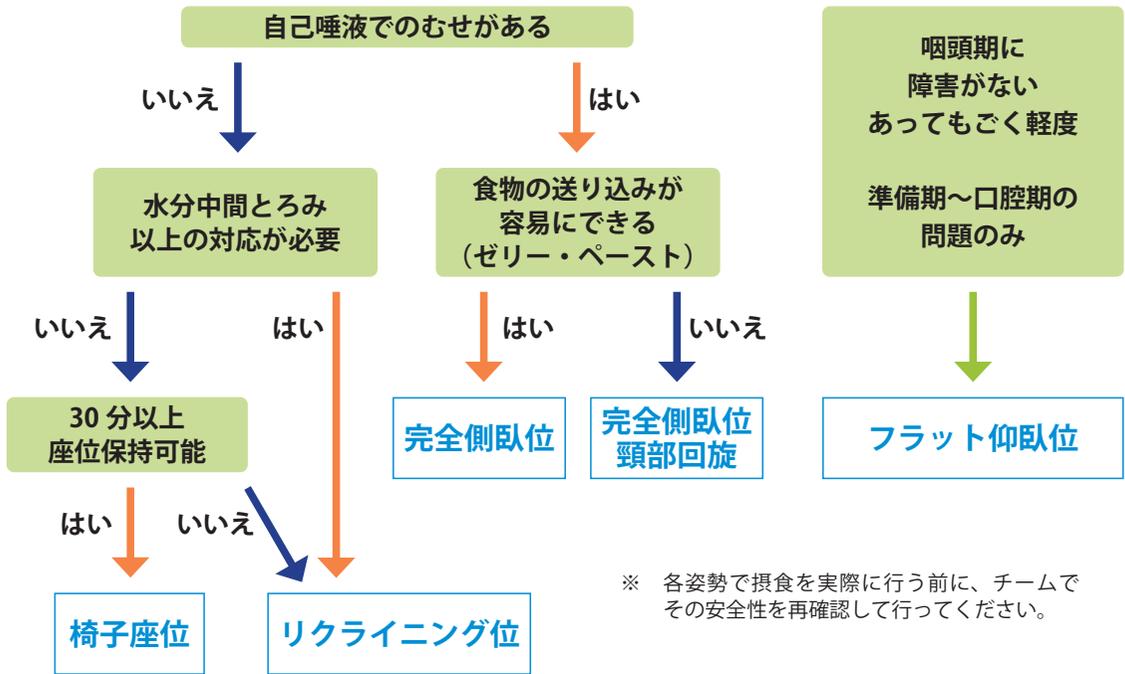


04

姿勢フローチャート

図2 姿勢フローチャート



リクライニング位

意義 ヘッドアップを行い体幹を後方へ傾けることにより、食物が咽頭後壁をつたいゆっくりと通過し、誤嚥を防ぐ。気道が食道の上の位置となり、食物が気道に落ちるのを防ぐ。口腔が後方へ傾くため、重力により食物が咽頭へ送り込まれやすくなる。

デメリット 水分は口腔をすばやく通過するため、誤嚥リスクがある。



- 頭頸部が過伸展しないようにし、軽度屈曲位となるように枕などで調整しましょう。
- 体幹が崩れやすい場合はクッションなどで体幹を安定させます。
- 両膝軽度屈曲位にします。
- 足底にクッションを設置します。
- 環境：オーバーテーブルは体幹と拳1個分スペースを取り、上肢の安定を図ります。